

平成22年度 岡山市国民健康保険の 医療費分析報告書 (概要版)

調査目的: 岡山市国民健康保険診療報酬明細書(レセプト)を分析することにより、被保険者の疾病構造の特徴や医療費の現状を明らかにし保健事業の運営に役立てる。

使用したデータ: 平成17年から平成22年のそれぞれの5月診療分(6月審査分)の岡山市国民健康保険のレセプト(調剤、訪問看護を除く)および平成20年から平成21年の岡山市国民健康保険特定健診結果。なお、レセプトデータ以外にも、被保険者数や岡山県平均値などを外部データとして利用。

岡山市国保の医療費の状況

- 岡山市国保の平成22年5月の医療費総額は43億円あまりで、入院は約18億円、外来(調剤、訪問看護を除く。以下同様。)は約20億円とほぼ同額で、外来の調剤医療費は約5億円、訪問看護医療費は約1200万円だった。
- 平成22年の1人あたり月間医療費は入院10,838円、外来11,916円ともに岡山県平均並みとなっている。
- 年齢層が上がるごとに月間医療費が高くなり、60~74歳の年代が最も高い。【図1】
- 入院と外来の医療費全体に占める割合が高い疾病は、循環器系の疾患、新生物(がん)、精神及び行動の障害、歯科疾患、内分泌・栄養及び代謝疾患(糖尿病など)、神経系の疾患、尿路器系の疾患(腎臓病など)の順となっている。【表1】【図2】

図1. 1人あたり月間医療費(入院と外来の合計)

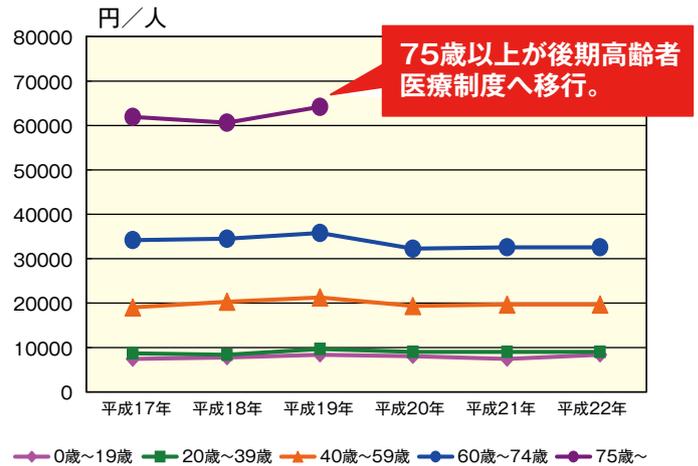
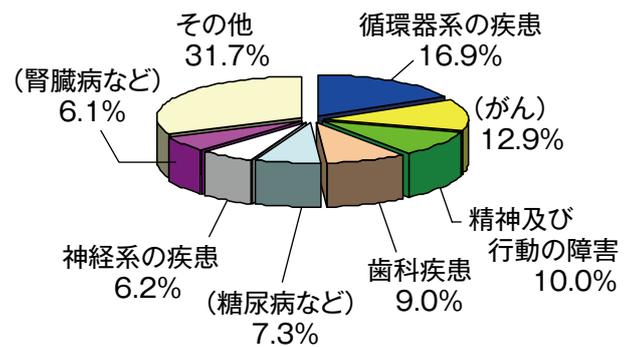


表1. 月間医療費(入院・外来)の疾病割合(平成22年5月レセプト)

疾病	割合(%)	医療費(円)
循環器系の疾患	16.9	650,578,110
新生物(がん)	12.9	494,054,490
精神及び行動の障害	10.0	383,703,320
歯科疾患	9.0	345,911,500
内分泌・栄養及び代謝疾患(糖尿病など)	7.3	278,876,350
神経系の疾患	6.2	236,140,430
尿路器系の疾患(腎臓病など)	6.1	235,513,620
その他	31.7	1,216,270,710

図2. 月間医療費(入院・外来)の疾病割合



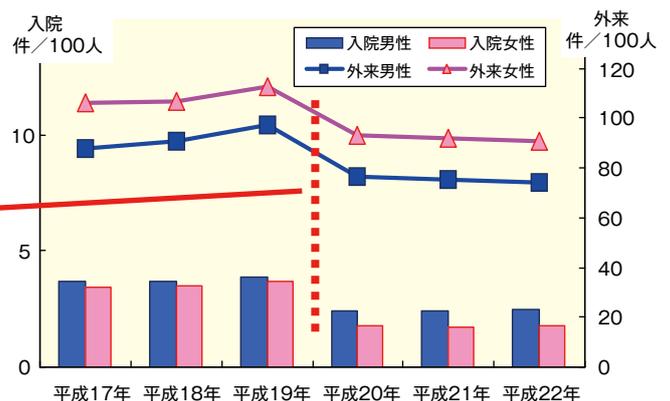
岡山市国保加入者の受診状況

- 岡山市の入院受診率・外来受診率は岡山県とほぼ同じ。
- 男性は女性より外来の受診率は低く、入院の受診率は高い。【図3】



75歳以上が後期高齢者医療制度へ移行したことによる件数減。

図3. 月間受診率(性別)

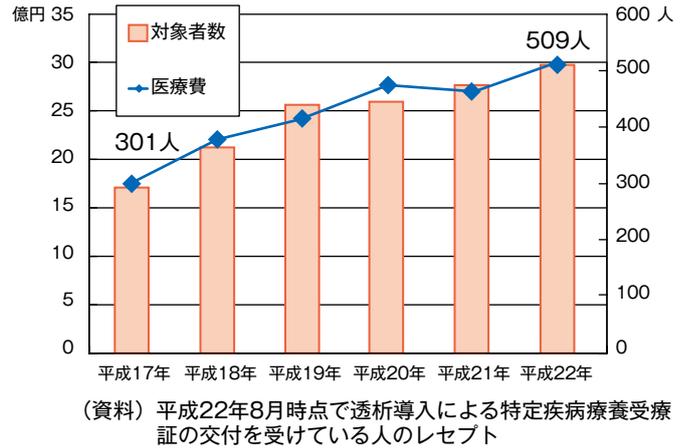


透析に関する分析結果

腎不全は高血圧症などに比べ対象者が少ないが、1人あたり医療費が高く、予防対策が重要な疾病と考えられる。

- 透析を導入している人は平成17年の301人から、平成22年の509人へと年々増加している。【図4】
- 透析にかかる医療費は年間1人あたり約600万円となっている。
- 透析開始者の導入前の病名は「高血圧32.4%」「糖尿病18.6%」「腎不全8.0%」となっている。

図4. 透析導入後の年間医療費推移（予測値）と対象者数



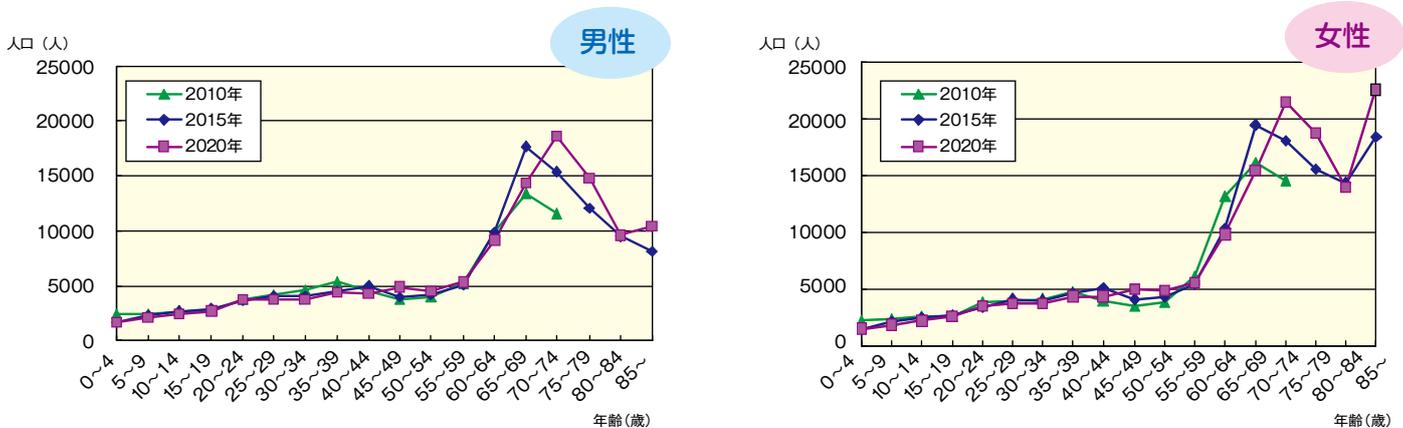
透析（人工透析療法）とは？

腎臓の代わりに血液をろ過し、血液中に溜まった老廃物（毒素）を取り除く療法です。透析を始めると一生つづけることになり生活が制限されます。近年の医療進歩で透析開始を遅らせることが可能となっています。

岡山市国保に関する将来推計

- 岡山市の国保加入者数は60歳以上が多く、今後も増加する。【図5】

図5. 岡山市国保加入者の将来推計（予測値）

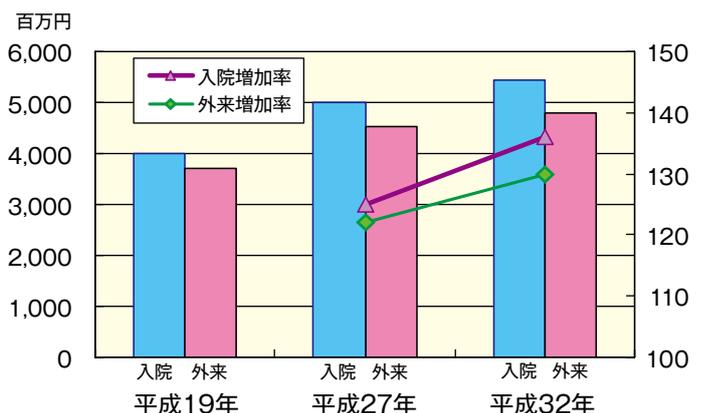


注) 平成19年5月の岡山市国保加入者割合と岡山市の将来推計人口に基づき算出したもの。5年後、10年後は75歳以上も含めている。

- 1人あたり月間医療費や受診率の高い60歳以上の年齢層の国保加入者が増加するのに伴い、医療費も増加する。
- 高齢化により入院治療を必要とする世代が増えるため、入院医療費の増加率が高い。【図6】

注) 折れ線グラフは平成19年を100とした時の各年の増加率。外来は調剤、訪問看護を除く。

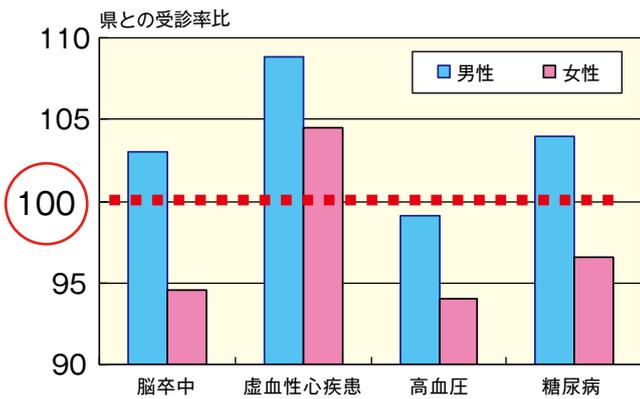
図6. 岡山市国保の月間医療費の将来推計



循環器系疾患に関する分析結果

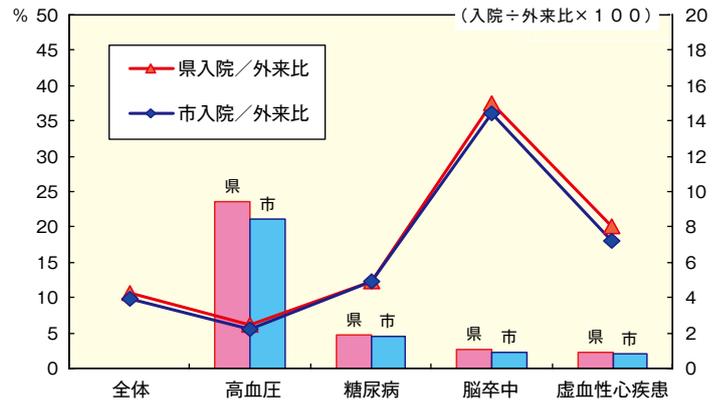
- 循環器系疾患で治療を受けた人の割合を岡山県と比較（平成20年から平成22年の平均）すると、男女とも虚血性心疾患は高く、男性は脳卒中と糖尿病も県より高い。【図7】
- 治療を受ける人の割合が高い循環器系疾患は岡山県、岡山市とも高血圧で2割強を占め、次いで糖尿病、脳卒中、虚血性心疾患となっている。【図8】
- 入院／外来比（入院患者数÷外来患者数×100）を見ると岡山県・岡山市ともに脳卒中による入院が最も高い。【図8】

図7. 県と市の受診率の比較（疾患別・性別）



注) たて軸は県を基準として受診率を比較しており、県と市が同じであれば100となる。

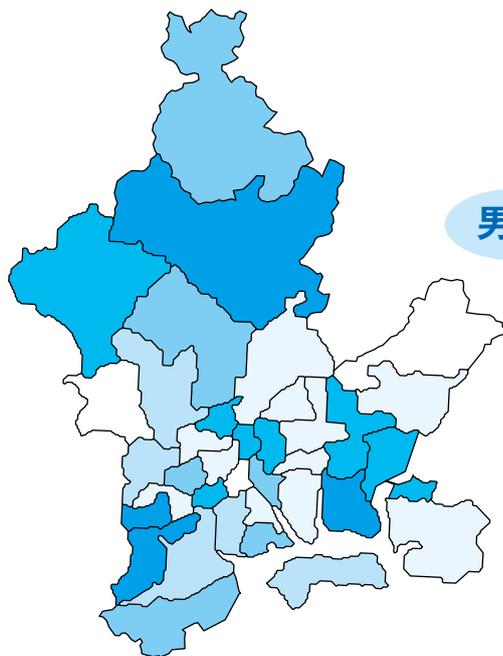
図8. 県と市の循環器系受診者の比較（平成18年5月レセプト）



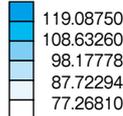
注) 棒グラフ(左軸)はレセプト全件に占める疾患の割合。折れ線(右軸)は入院／外来比(入院患者数÷外来患者数×100)を示す。

図9. 虚血性心疾患の受診率の比較（中学校区別マップ）

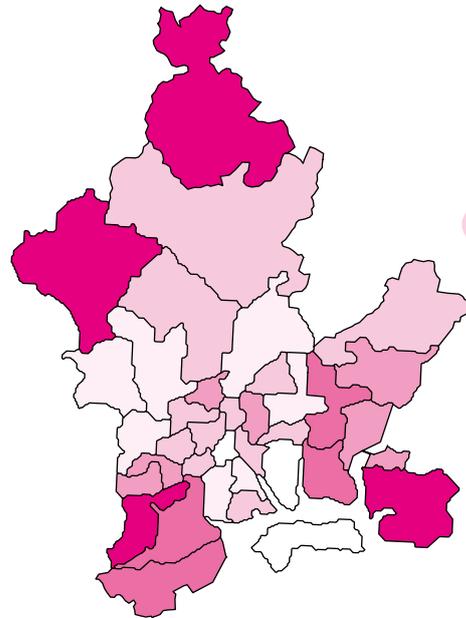
- 脳卒中、虚血性心疾患、高血圧、糖尿病のうち、医療機関で治療を受けている人の割合をみると、地域間の差が大きいのは、男性・女性ともに虚血性心疾患であった。【図9】



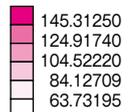
男性



高い中学校区：御津・妹尾・興除・上南
低い中学校区：高松・岡輝



女性

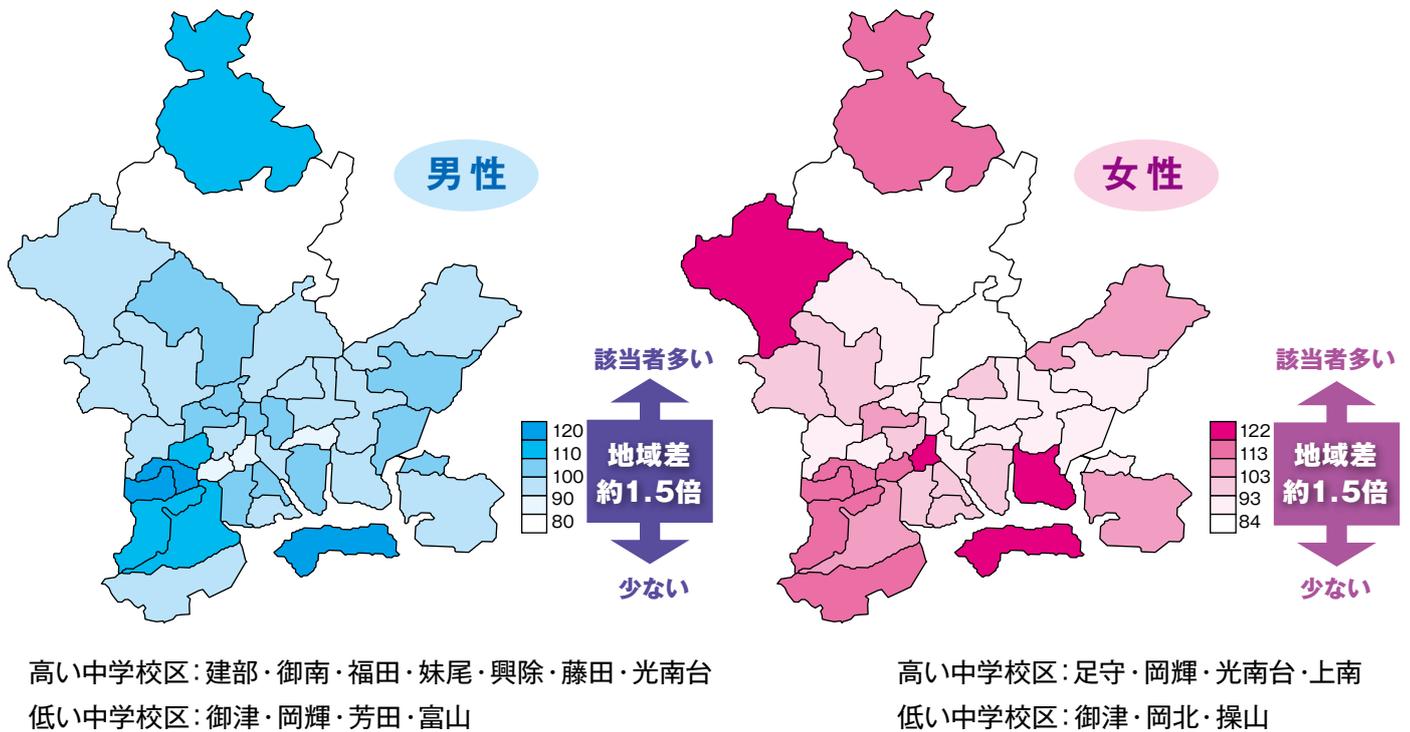


高い中学校区：建部・足守・興除・山南
低い中学校区：岡輝・光南台・操南

注) 中学校区ごとの年齢構成が異なっても、そのまま比較できるように岡山市全体の年齢構成にあわせて調整している。岡山市全体の受診者割合を基準(100)として計算し、基準値より高い地域は濃く、低い地域は薄く色分けしている。

特定健診受診者の中学校区別の分析結果

図10. メタボリック症候群該当者の比較 (中学校区別マップ)



注) 中学校区ごとの年齢構成が異なっても、そのまま比較できるように岡山市全体の年齢構成にあわせて調整している。岡山市全体の受診者割合を基準(100)として計算し、基準値より高い地域は濃く、低い地域は薄く色分けしている。

表2. 高血圧に関係した地域特性 (中学校区別)

	男性	女性
未治療で高血圧リスクが高い (血圧が高く治療が必要な人が多い)	建部・石井・桑田・福南・光南台	建部・岡北
高血圧治療中で肥満の人が多い	石井・福田・操南・上南	建部・足守・灘崎・西大寺・上南・山南
高血圧と糖尿病を合併している人が多い	御津・京山・岡山中央・芳泉・上道	足守・福田・灘崎・光南台・旭東

表3. メタボリック症候群関係の地域特性 (中学校区別)

	男性	女性
糖尿病でメタボ該当者が多い	足守・香和・高松・岡山中央・妹尾・光南台・高島・上道	建部・福田・藤田・光南台・上道・旭東・上南・山南
中性脂肪が高い人が多い	桑田・岡輝・御南・妹尾・興除・芳田・高島	石井・灘崎・芳泉・光南台・上南
低HDL者が多い	建部・御津・高松・妹尾・興除・藤田・旭東	建部・上南・山南

岡山市国保年金課

〒700-8546 岡山市北区鹿田町一丁目1-1 TEL 086-803-1133 FAX086-226-8501 (H23.7作成)